

演題

# 最新の胃がん検診と 胃がん治療

2024  
10/18

金

※来場型開催



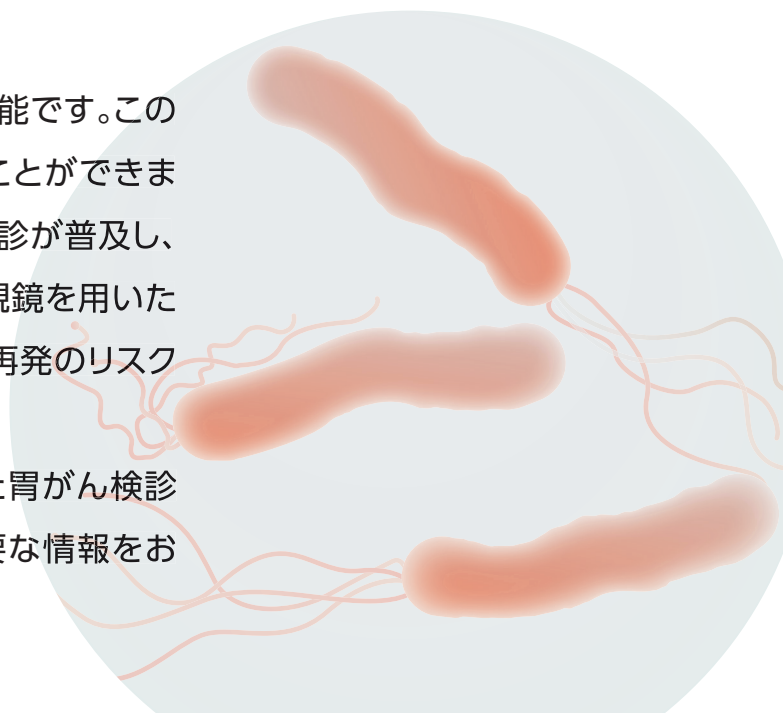
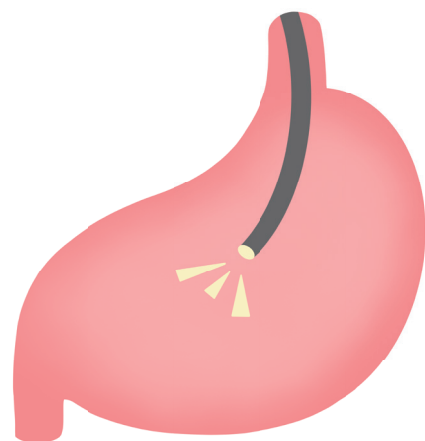
講師

内視鏡センター  
准教授 新倉 量太 医師

胃がんは、日本人にとって一般的ながんの一つです。胃がんの原因には、ヘリコバクター・ピロリ菌(ピロリ菌)という細菌の感染があります。この細菌は、慢性胃炎を引き起こし、胃がんの発症につながります。

しかし、ピロリ菌は、抗菌薬を使って除菌治療が可能です。この治療を受けることで、胃がんのリスクを下げることができます。最近では、ピロリ菌の検査を含めた胃がん検診が普及し、より効果的な予防が進められています。また、内視鏡を用いた胃がんの治療後にも、ピロリ菌を除菌することで再発のリスクを減らす取り組みが行われています。

この講座では、最新のピロリ菌検査を取り入れた胃がん検診や治療について解説します。胃がんの予防に必要な情報をお伝えします。



**日時** 2024年10月18日(金) 開場 17:00 開演 17:30 ~ 閉演 18:30(予定)

**会場** 東京医科大学病院 本館9階 臨床講堂 (最寄駅:丸ノ内線 西新宿駅)

**申込** 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。